



スマホ買いたい人講座

スマホは現代の生活に欠かせない道具となってきました。しかし、新しく出現したので、本当に購入する価値があるのか、いったいどう使えるのか不安だという思いを抱えている人も多いのではないのでしょうか？

また現在スマホを持っている人も、もっと安くなるようだが切り替えるのは不安だという人は多いと思います。これからスマホを買いたい人・安くしたい人のための講座です。



改版2017年9月

一般社団法人 セカンドライフファクトリー

中村 年雄

初めに（みなさんのデジタル環境？）

1. 現在使用しているものは何ですか？

- a)携帯電話(ガラケー)
- b)スマホ
- c)両方持っていない

2. 普段電子メールを使用していますか？

- a)使用している
 - ・PC用メール
 - ・キャリアメール(ex. xxx@docomo.ne.jp、 xxx@i.softbank.jp、 xxx@ezweb.ne.jp)
 - ・ショートメール(SMS)
- b)使用していない

3. パソコンを使用しているか？

- ・デスクトップPC
- ・ノートPC
- ・タブレット
- ・持っていない

4. 家のネットワーク環境

- ・インターネットは使用できるか？
- ・WiFiの環境があるか？

5. パソコンの使用目的は？

- ・メール
- ・検索(調べる)
- ・ネットショッピング
- ・その他

初めに（スマホに興味を持った理由？）

1. スマホを持つと思ったきっかけは？

- a) 周りにスマホを持っている人の影響。(便利そう、楽しそうなので持ちたい。)
- b) 写真を撮りたい。送りたい。
- c) 孫などとスマホを使って連絡をしたい。
- d) SNS仲間に入りたい。
- e) 今時持っていないと肩身が狭い
- f) その他

2. スマホを持つのにネックは何ですか？（躊躇したのは何故ですか？）

- a) 入手するまでの手順が分からない。(近くに教えてくれる人がいない)
- b) 費用面
 - ・どのくらい費用がかかるか分からない。
 - ・持っている人の話を聞くと高い。
- c) その他

スマホを持つための手順・方法 (No.1)

スマホを持つ(使えるようにする)ためには2つのことが必要です。

(1) スマホ端末を入手する。

(2) ネットワークを使用するためにモバイル通信会社(大手キャリア又はMVNO)と契約する。

MVNO: Mobile Virtual Network Operator (格安SIMを販売している)

(1) スマホ端末の入手方法

(a) 知り合いで余ったスマホを持っている人から入手する。

ex.お孫さんからもらう。

(b) インターネットで買う

新品*1/中古*2 (SIMフリー端末、白ロム)

(c) お店で買う

最近は電気量販店でもSIMフリー端末が売っている。

(d) キャリア/MVNO社と一緒に購入する

一番多いのはキャリア(ドコモなど)で買う人。

最近はMVNOでもスマホ端末と一緒に売っています。(機種、性能にこだわらないのなら良いかも)

(自分で選ぶ必要が無くいろんな心配をしないでも良い。しかしほぼ正規の値段でインターネットみたいに安くは買えない。又機種も最先端の端末はほとんどない?)

スマホを使うための手順・方法 (No.2)

(1-1) スマホ端末の入手方法 (注意事項)

注)*1:何故安いのか？

日本の通信会社がおかしいことを行っているからです。

自社に縛り付けるためにいろいろとキャンペーンをしています。最近は総務省の指導で少なくなった。

ex.機種変更0円など。→タダならもらっておこうと考えます。そして使わないから売りに出します。

このような機種が一杯市場に出ています。これは未使用の場合ですが、中古も一杯出しています。

新品は1万円～5万円といろいろあります。自分の使用方法にあった機種を選びます。

* 新品も通信3社の場合7万円～9万円と最新機種は高いです。これが機種にも依りますが半額以下で買えます。

注)+2:何を注意しなければならないか？

端末には”利用制限”と言うのが有ります。

・2年間の端末代支払いが完了していない端末

→元の持ち主が端末代の支払いを止めた場合、その端末は利用できなくなります。

・安心プラン(オプション)に入っている端末

→元の持ち主が端末を無くしたと届けた場合、その端末は使用できなくなります。

ではそのような端末で無いことを確認するにはどうするか？例えば、ドコモの場合(他社も同様にチェックできます。)

”ネットワーク利用制限携帯電話機確認サイト”<http://nw-restriction.nttdocomo.co.jp/top.php>“があり、ここで買おうとしているスマホの製造番号を入力すると、そのスマホがどのような状態かを教えてくれる。

○:問題なし、△:利用制限になる可能性がある、x:利用制限中

スマホを使うための手順・方法 (No.3)

(1-2) スマホ端末の選び方

(a) 画面の大きさ

シニアは小さい字が見にくいので、5.2インチ、5.5インチがお勧めです。
これ以上大きいと普段の持ち運びに不便です。(ポケットに入らないなど)

(b) カメラの画素数

写真を楽しみたい人はカメラの画素数も重要です。(今のスマホはデジカメよりも高画質です。)

(c) 電池の容量

スマホの使用方法にもよりますが、一般的な使用方法では1回/2日位に充電が必要です。
最近は大容量電池のスマホが売られています。(長持ちするが重たくなる。) 3000mAhは欲しい。

(d) 処理性能(CPU,メモリー量)

スマホの価格に大きく影響します。
使い方次第ですが、最初はマニアックな使い方はしないと思いますので、まずは余り気にしないで良いと思います。
相当使い慣れ、遅すぎると感じた時点で高性能のスマホに変えればよいと思います。)

(e) 液晶画面の画素数

実際に見て決めれば良いと思います。
低価格のスマホでも十分に、問題なく使用できると思います。

参考) 価格コムSIMフリー端末 http://kakaku.com/keitai/smartphone/itemlist.aspx?pdf_Spec115=7&pdf_so=p1

スマホを使うための手順・方法 (No.4)

(2) 通信会社との契約

MVNO(格安SIM会社)は、ドコモ又はauの回線を借りて商売をしています。

従い、通信品質は全く問題ありません。(ドコモ、auの品質とまったく同じです。)しかし大手3社でも昼休みなど輻輳して速度が遅くなりますが、SIMフリーは更に遅い場合がありますので注意が必要です。

(a) 大手キャリアと契約

ドコモ、au、ソフトバンク

xxxショップに行って契約する。価格は高い！ 困ったときにお店に行って相談ができる。

(b) MVNOと契約

非常に多くの会社があります。

楽天モバイル、IIJmio、Ymobile(ワイモバイル)、mineo(マイネオ)、UQ mobile など

<http://kakuyasu-sim.jp/list>

参考) 格安SIMについて良く分かります。(利点、価格など)

<http://kakuyasu-sim.jp/>

<http://kakaku.com/keitai/smartphone/lowprice/>

<http://格安スマホおすすめ.com/>

スマホを使うための手順・方法 (No.5)

(2-1) MVNOを選択した場合の注意事項

MVNOは毎月の通信量は大手キャリアに比べて大幅に安くなりますが以下の注意が必要です。

(a) キャリアメール(大手キャリア固有のメールアドレス)が使えなくなる。

ex. xxx@docomo.ne.jp xxx@i.softbank.jp xxx@ezweb.ne.jp

(b) 電話(音声通話)を普段どのくらい利用しているか？

場合によってはトータル費用がMVNOの方が高くなることもある。

注)MVNOは音声サービスがまだ充実していない、最近は音声サービスを提供する各社が増えています。

(c) 自分でなんでも行う必要がある。

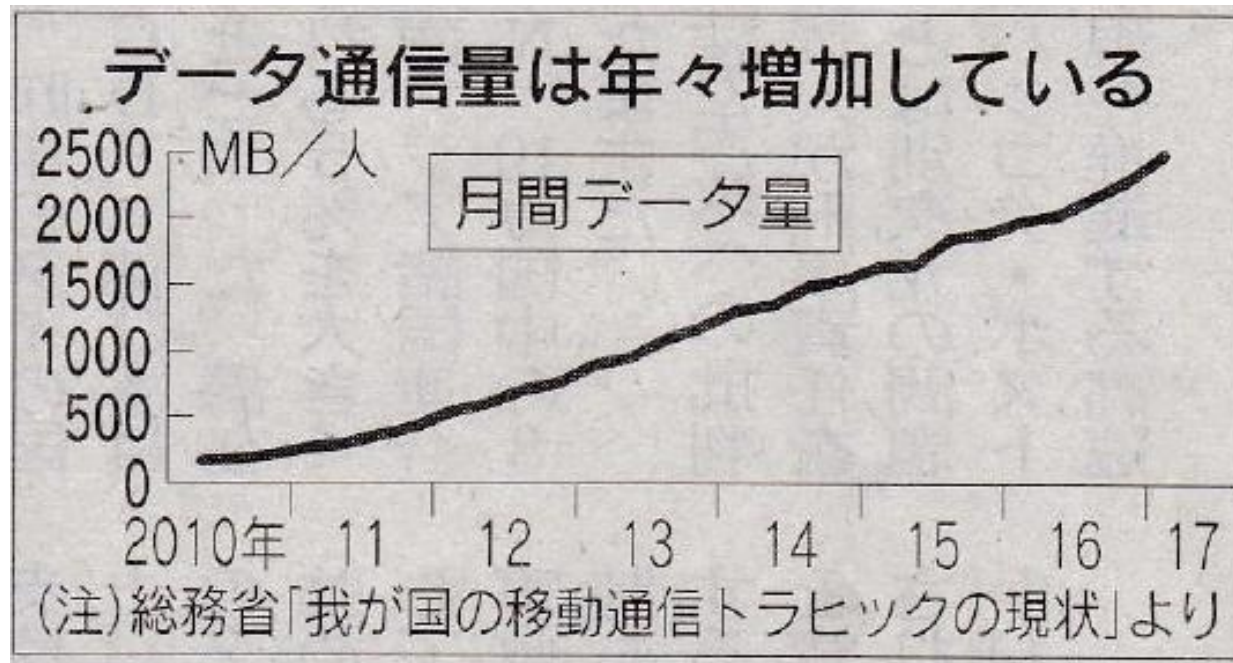
XXXショップに行けばなんでもやってくれ、自分でやることはほとんどない。

最近は家電量販店でMVNOを扱うようになってきましたので、便利です。

大手キャリアなら何も考えずに契約しても、高い月額料金がふりかかるくらいで、それ以外は快適に使うことができます。お金さえ出していれば、何も考えなくても快適安心を保障しているのが大手キャリアです。

スマホを使うための手順・方法 (No.6)

(2-1-1) 通信量はどのくらい使用するか



表はスマホを使う人の全体の平均値です。

私の場合は、スマホを使う場所のほとんどが自宅とセカンドライフファクトリーの事務所でWiFi環境があります。

通信量は1G/月を超えたことは1回もありません。(多分0.5G/月を超えたこともないと思います。)

動画を見たり音楽を聴かなければ1G/月も行かないと思います。

スマホを使うための手順・方法 (No.7)

(3) MVNO(格安SIM)でスマホを持つまでの流れ

①スマホ端末を購入する。(現在スマホを持っている場合又は端末も一括して申し込む場合は不要。)

②同じ電話番号を継続して使いたい場合

現在の通信会社から”**予約番号**“をもらう。(ショップに行くか、インターネット又は電話でもらう。)

MNP (Mobile Number Portability) と言ってどこのキャリアでも簡単にしてくれる。

手数料は2,000円です。

③MVNOにインターネットで申し込む。(イオン、ビックカメラなどはお店に行けば申し込める。)

この時注意しなければならないことは、SIMカードにはサイズが数種類あります。

自分の端末にあったSIMサイズを指定しなければなりません。

注)最初に端末を入手した人は、その端末が利用できるネットワークを使用しているMVNOを選ばなければならない。(SIMフリー端末はどのMVNOでも良い。)

安心のために各MVNOのホームページでその端末が利用できるかを確認したほうが良い。

④ MVNOからSIMカードが送られてくる。

⑤それをスマホに差し込み、送られてきた資料に従い初期設定をする。

10分位で終わる簡単なものです。

料金は: 初期費用3,000円

料金比較概算 (No.1)

格安スマホの月額料金はキャリアと比べていくら安くなるの？

携帯大手キャリアの月額料金の半額以下でスマホが利用できます。

格安スマホと携帯大手キャリアは、データ通信量の月額料金に大きな開きがあります。また、携帯大手キャリアでは国内通話のかけ放題が月額料金に含まれるのに対して、多くの格安スマホでは「通話料はかけた分だけ課金」または「通話オプションを追加」などを自分の通話スタイルに合わせて選択できます。これらの料金の差から、格安スマホの端末料金を含んだ月額料金は、携帯大手キャリアの半額以下まで節約できます。

携帯大手3社 かけ放題プラン

月額 **8,454円** / 月 (通話料含む)

通話基本料+5分の通話かけ放題 1,836円
データ通信量 (5GB) 5,400円
インターネット接続料 324円
端末料金 (24回分割) ※1 894円

毎月
4,538円
節約

格安スマホ

月額 **3,916円** / 月 (通話料含まず)

通話料

- かけた分だけ課金 (21.6円 / 30秒)
- 通話オプションを追加
例) 5分の通話かけ放題 889円 ※2

インターネット接続料+データ通信量 (5GB)

約 **2,250円** ※3

端末料金 (24回分割) ※4
1,666円

※2017年7月24日時点の料金です。税込みの金額で算出しています。

※1 2017年夏モデルのMNPの場合の端末料金の実質負担金の平均価格

※2 価格.com格安SIMカードカテゴリ掲載の5分の通話かけ放題オプションの平均価格

※3 価格.com格安スマホカテゴリ掲載の5GBプランの通信プラン料金の平均価格

※4 価格.com格安スマホカテゴリ掲載の端末の平均価格

料金比較概算 (NO.2)

2017年8月20日(日経新聞)

(1) MVNOの比率

- ・2014年4月 0.6%
- ・2017年3月 7.4%

(2) 大手キャリア3社とMVNOの料金比較(実績値)

MVNOの平均月額料金 2,957円

(大手キャリア3社より約5,000円安い)

驚くほど儲けています。

大手キャリアの業績(2017年3月期)

[100万円]

[万人]

	売り上げ	営業利益	経常利益	当期利益	連結従業員数
ソフトバンク	8,901,004	1,025,999	712,526	1,426,308	6.8
NTTドコモ	4,584,552	944,738	949,563	652,538	2.7
KDDI	4,748,259	912,976	895,897	546,658	3.5
日立	9,162,264	587,309	469,091	231,261	30.4
ヤマトHD	1,466,852	34,885	34,884	18,053	16.1

料金比較（月額料金概算）

1. MVNOと契約するときの初期費用

(1)新規契約 (SIMカード料金) 約3,000円

(2)MNP（電話番号の移転） 約2,000円

MVNO	通信量			音声オプション
	0.5G	1G	3G	
mineo	¥1,400	¥1,500	¥1,600	5分以内かけ放題:850円
NifMo	—	¥1,340	¥1,600	10分以内かけ放題:830円 (専用アプリからの発信)
楽天モバイル	¥1,250 (200Kbp)	—	¥1,600	5分以内かけ放題:850円
LINEモバイル	¥1,200		¥1,690	10分以内かけ放題:880円

大手キャリア	通信量			音声オプション
	1G	2G	3G	
ドコモ		3,500+980 +300=4,780円		5分以内かけ放題: +720円
au	2,900+1,700 +300=4,900円		4,200+1,700 +300=6,200円	5分以内かけ放題含む
ソフトバンク			3,500+934 +300=4,734円	
ドコモ(ガラケー)	980円+300円=1,280円			電話サービスのみ

スマホでこんなことができる

スマホはパソコンと同じです。パソコンで出来ることは全部で来ます。
但し、キーボードが無いので長いメールやofficeなどを使うのは効率が悪いです。

- (1) パソコンで行っていること。(インターネットで検索、メール)
- (2) 電話
- (3) 予定表(通知してもらうなど)
- (4) ウォーキング(万歩計)
- (5) 写真(どこで撮った写真をgoogle地図上に示してくれる。旅行の写真などを見るのに楽しく使える。)
- (6) ナビ(カーナビと同じ機能で音声で案内してくれる。)
- (7) ロgger(ウォーキング、サイクリングした時に使用する。終わった後でどれだけの距離を、どのルート通ったかを地図上に示してくれる。非常に楽しいものである。)
- (8) ニュース(時間を指定しておけば配信してくれる。)
- (9) マンガ(定期的に配信してくれる。)
- (10) ゲーム(いっぱいあり過ぎる。麻雀…)
- (11) 交通乗り換え(出かけた時に現時点の一番良いルートを教えてくれる。)
- (12) GPS(いろいろ使用出来る。例えば、海外旅行に行った時に現在位置が地図上で分かるので便利。
タクシーに乗ってわざと遠回りされることが多いが、すぐに指摘して修正することが出来る。又、いろいろ歩いてどこにいるか分からなくなっても、これを見れば迷子にならない。)
- (13) テザリング(無線ルータとして使用できる。外出した時にスマホを経由してノートPCからインターネットに接続することが出来る。)

注) 上記は全部無料で出来、一切の費用はかからない。他にも無料ソフトは何万とあります。

主な用語の説明

- ・格安SIM: 物理的には、クレジットカードの金メッキの部分を取り出したような長方形のICカード(SIMカード/シムカード)を意味します。大きさは1円玉よりも小さいくらい。契約した格安SIMをスマホに入れることで、ネットや電話、アプリが普通に使えるようになります。
 - ・格安スマホ: 主に格安SIMで使うためのSIMフリーのスマートフォンを格安スマホと言います。格安SIMとSIMフリーのスマホをセットにした料金プランを格安スマホという場合もあります。
 - ・SIMフリーのスマートフォン: 他社のSIMカードでも使えるのがSIMフリーのスマートフォンです。SIMロックフリーやSIMフリーと短縮する場合があります。格安スマホもSIMフリーのスマートフォンです。格安SIMをSIMフリーのスマートフォンに入れて使います。
 - ・MVNO: 格安SIMのサービスを提供している会社です。格安SIMや格安SIMで使える格安スマホを販売しています。楽天モバイルやUQ mobile、mineo等をMVNOと呼びます。読みにくいですが、エムブイエヌオー、と読みます。MV”M”Oとかと間違えるので、何回か言う練習が必要です。MVNOが格安SIMのサービスを提供します。
 - ・白ロム: ドコモやau、ソフトバンク等で販売したスマートフォン、またはタブレットのことを白ロムと呼びます。ほとんどの場合で今使っているスマホで格安SIMを使うことができますが、いくつか注意点があるので、詳しくはドコモのスマホを持っている場合、auのスマホを持っている場合、ソフトバンクのスマホを持っている場合を参考してみてください。
- 全部をまとめて説明すると、MVNOで購入した格安SIMをSIMフリーのスマホまたは白ロムに入れて使います。これで、大手キャリアの高い月額料金を払わずに、スマホでネットや電話、アプリを安く使うことができます。

おまけ：フィンテックについて

・フィンテック(FinTech)は金融(Finance)と技術(Technology)を結合した言葉。
世界の金融機関の利益(税引き後)が2014年に1兆ドルを超えた。(マッキンゼー & カンパニーの調査結果)この利益に群がる破壊者たちがフィンテック企業である。=既存の金融機関の破壊者

新しくて便利なサービスが次々と誕生している。

アメリカでは次のような会社がどんどん起業されている。一例を示す。2015年末時点でアメリカだけで1,300社以上のフィンテック企業が存在する。日本は遅れに遅れている。

◇ペイパル(PayPal): 簡単な決済手段を提供し、さらに個人間でお金を送るサービス

◇ミント(Mint.com): 銀行口座や証券口座、クレジットカードの利用情報などを一元化し、個人の資産管理や資産運用をサポートするパーソナル・フィナンシャル・マネージメント(PFM)サービス

◇スクエア(Square): スマートフォンの「ドングル」と呼ばれる機器を取り付けることで、それまでクレジットカードが利用できなかったお店などでクレジットカード決済を可能にするサービス

◇レンディングクラブ(LendingClub): 個人間でお金の貸し借りを仲介するサービス(プラットフォームを提供)

◇シンプル(Simple): 店舗を持たずにスマートフォン上で銀行と同じサービスを提供する

既存の金融機関の存続を脅かす可能性を持っている。ATMもなくなります。

利用者のニーズに応える優れたサービスを速いスピードで提供し、利用者の不満に素早く対応している。銀行は新しいサービスの提供や現在提供しているサービスの改善などに大規模システムの変更などが必要でなかなか行われたい又は非常に時間がかかり、利用者の不満を解消していない。

大きな特徴は、①スマートフォン②既存の金融機関のサービスに比べて非常に低価格の2つである。



(スマートフォンを持っていない人はフィンテックとは無縁の生活をしなければなりません。それでも生きて行くことはできますが・・・)